

# 一般質問

質問した順番で掲載しています。  
各議員名の下にあるQRコード\*から質問の映像をご覧になれます。

## 会派代表質問



自民創生  
よしはら  
吉原

たかし  
孝



### 前市政の継承と見直し

**問** 新市長として田上前市長の市政運営の何を継承し、何を見直すつもりなのか。

**答** 激しい時代の変化に対応するため、前市長が次の世代のまちの基盤をつくることに一貫して取り組んできた結果、今10年に一度の変革期を迎えている。一方で、人口減少問題については対策の効果が十分に上がっていない状況である。そこで、「新たなまちの基盤」をうまく生かしながら、長崎のまちが持っている魅力やポテンシャルを掛け合わせ、人、企業、投資を呼び寄せる施策を新たに行う必要があると考えている。

このため、経済再生、少子化対策、新市役所創造の3つのプロジェクトを始動するとともに、高度な専門性を持った外部人材の登用など新たな政策の推進体制も構築していく。また、これまで以上に市民との対話を重視するため、市民目線で、市民の、市民による、市民のための市政を推進する。



市民クラブ  
のぐち  
野口

たつや  
達也



### 交通渋滞の緩和

**問** 市街地の渋滞状況は年々ひどくなる一方であるが、どのような対応策を考えているのか。

**答** 国や県などの支援を受けながら、交通混雑解消のための道路網の整備に取り組んでおり、長崎自動車道や新日見トンネルの4車線化などにより、定時性や安全性の向上が図られてきているが、市中心部の幹線道路では朝夕を中心とした慢性的な交通混雑などが発生している。そのため、長崎南北幹線道路や長崎南環状線等のバイパス道路の整備、国道の改良事業など、交通環境の改善に取り組むとともに、地元自治会や経済団体等で構成する協議会を設置し、国や県などに対する要望活動を行っている。また、バス・路面電車の運賃無料デーや昼間定期券の割引の支援など、公共交通の利用促進につながる事業も実施を予定している。

今後、交通渋滞の緩和に向けて、しっかりと取り組んでいきたい。



公明党  
むかいやま  
向山

むねこ  
宗子



### 核兵器廃絶への取組

**問** 「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」が発出されたが、本市は被爆地として今後どのような働きかけをしていくのか。また、同ビジョンには世界中の指導者や若者などに、広島・長崎への訪問を促す内容があるが、受入れに係る本市の考えを伺いたい。

**答** 広島サミットを転換点に世界が再び核軍縮に向かうことができるか、その方向性を定める場となることが期待される。「核不拡散条約（NPT）再検討会議第1回準備委員会」に出席し、被爆の実相を改めて伝えるとともに、核兵器の不使用と廃絶を強く訴えたいと考えている。また、本市への受入れについては、これまで各国の若手外交官を対象とした核軍縮への理解を深める研修を数多く受け入れてきた経験を生かし、未来のリーダーの育成に貢献していきたい。



### 南部地区の振興策



新出島クラブ  
たけつぐ  
武次

りょうじ  
良治



**問** 企業立地用地とする考えが示されている為石浄水場跡地の土地利用計画策定スケジュールと、国道499号の未改良区間の今後の整備見通しを伺いたい。

**答** 為石浄水場の跡地活用にあたっては、10万トンの貯水池の埋め戻しが必要であるため、長崎南環状線のトンネル工事残土を令和8年度末まで受け入れる予定である。今後、地域への説明を行い、今年度中に跡地活用の方向性を決定するとともに、浄水場施設等の解体設計を進め、来年度から解体工事や接続道路の設計に着手する予定である。

また、国道499号の「栄上工区」については、令和4年度末の進捗率は約9割で、一部の土地の取得に時間を要しているものの、令和7年度の完成を目標に進められていく予定である。

今後も地域の皆様をはじめ、県や関係機関等との連携をより一層強化し、事業の推進に努めていく。



概要、議決結果

一般質問

常任委員会の主な審査内容

特別委員会の構成等